

移送サービスのつどい2016プレ企画

セミナー

福祉施設送迎ドライバー研修の具体的あり方

(管理者向け)

開催趣旨

全国津々浦々、リフトやスロープがついた福祉車両が数多く走る時代になりました。中でも最も多いのは、デイサービスなど福祉施設の送迎車両です。現在そのドライバーには、特に資格規定はありません。一方で、死亡事故なども発生し、マスコミに取り上げられることも珍しくありません。一方で各施設では、ドライバー研修の必要性は感じながらも、どのような内容を、どのような方法で実施してよいか頭を悩ませておられるのではないのでしょうか？

東京ハンディキャブ連絡会では、2014年から「移送サービスのつどい」のプレ企画として福祉施設送迎などの福祉系ドライバーの研修の必要性と課題についてセミナーを開催してきました。またセミナーをきっかけに実際に研修を開催したり、運行マニュアルの作成のご相談をいただいております。今回は、運転者向け研修のあり方を、各施設で実際に行っている研修の内容や運行管理について具体的に施設関係者のみなさんと情報交換を通して考え、また意見を交わすことにより、より安全で安心な施設送迎のあり方を考えたいと思います。

日 時 平成28年3月5日(土) 10時～17時 (受付9時30分より)

会 場 東京ボランティア・市民活動センター会議室AB
(飯田橋セントラルプラザ10階)



東京都新宿区神楽河岸1-1

JR・地下鉄 飯田橋駅下車

(有楽町線、南北線、東西線、大江戸線
出口B2b)

主 催 東京ハンディキャブ連絡会／東京ボランティア・市民活動センター
後 援 東京都高齢者福祉施設協議会 東京都高齢者福祉施設協議会
センター分科会

定 員 60名

参加費 4,000円 (お一人、資料代込み)

内 容 1. 送迎ドライバーの法的位置付けと課題 2. 福祉送迎車両が絡んだ最近の事故事例の動向 3. 施設管理者の法的責任 4. 各施設でのドライバーの資格要件と研修の実際 5. 研修プログラムの具体的内容 5. 意見交換
講 師 東京ハンディキャブ連絡会 福祉有償運送講習インストラクター

*東京ハンディキャブ連絡会について（主催団体）

1986年、東京都内でハンディキャブ（当時の福祉車両の愛称）を運行するボランティアグループ同士のネットワーク作りを目的に結成されました。

「移動」を社会的に保障されるべき権利としてとらえ、公共交通機関も含めた「移送サービス」のあるべき姿の実現に向けて、運行団体や利用者、行政、公共交通機関、社会福祉協議会、車両メーカー等との課題共有とネットワーキングに取り組んでいます。また、自家用有償旅客運送の担い手を育成する認定講習をはじめ、移送サービスコーディネーター講習を実施するなど人材育成事業に力を入れています。

■お申込み先

東京ボランティア・市民活動センター（担当：小野）

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ 10階

〔電話〕03-3235-1171 〔ファックス〕03-3235-0050

〔ホームページ〕<http://www.tvac.or.jp/>

■企画内容についての問合せ先

東京ハンディキャブ連絡会

〒104-0041 東京都中央区新富1-8-12

〔電話・ファックス〕03-3206-8939

E-MAIL office@tokyo-handicab.net URL <http://www.tokyo-handicab.net/>

※ご参加いただく施設の方に、事前にアンケートをお願いする予定にしていますので、ご協力をお願いいたします。

お申し込み用紙

F A X : 0 3 - 3 2 3 5 - 0 0 5 0 (小野行)

※参加費は当日に受付でお支払ください。

参加者名		施設名	
ご住所	〒		
お電話		F A X	
領収書について (ご希望の方は○をつけてください)		施設名入り ・ 但し書きあり	

*内容、講師等は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

*個人情報の取扱いに関する方針はホームページ (<http://www.tvac.or.jp/>) をご覧ください。